

平成27年度 都道府県肝疾患診療連携拠点病院
看護師研修会 平成27年12月4日

肝疾患相談における 看護師の新しい役割

拠点病院活動
地域へ  を広げよう！

岡山大学病院
新医療研究開発センター
難波志穂子

<namba-s1@cc.okayama-u.ac.jp>

本日のプログラム



厚生労働省が
求めていること



肝疾患診療連携拠点病院
【岡山大学病院
肝疾患サポートチーム】



方針と目標



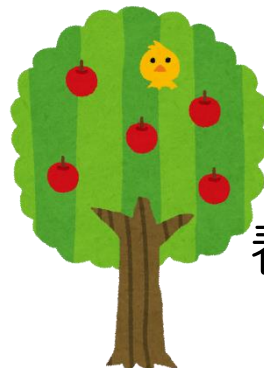
活動の具体的内容①
【出張肝臓病教室】



活動の具体的内容②
【無料肝炎検査キャンペーン】



情報発信
【MOMO肝通信】



看護職の新しい役割

本日のプログラム



厚生労働省が
求めていること



活動の具体的内容②
【無料肝炎検査キャンペーン】



肝疾患診療連携拠点病院
【岡山大学病院
肝疾患サポートチーム】



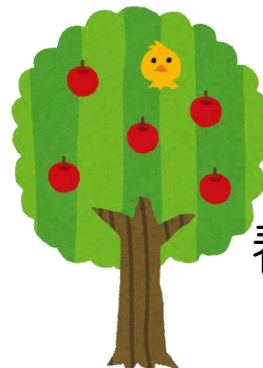
情報発信
【MOMO肝通信】



方針と目標



活動の具体的内容①
【出張肝臓病教室】



看護職の新しい役割

厚労省のホームページ

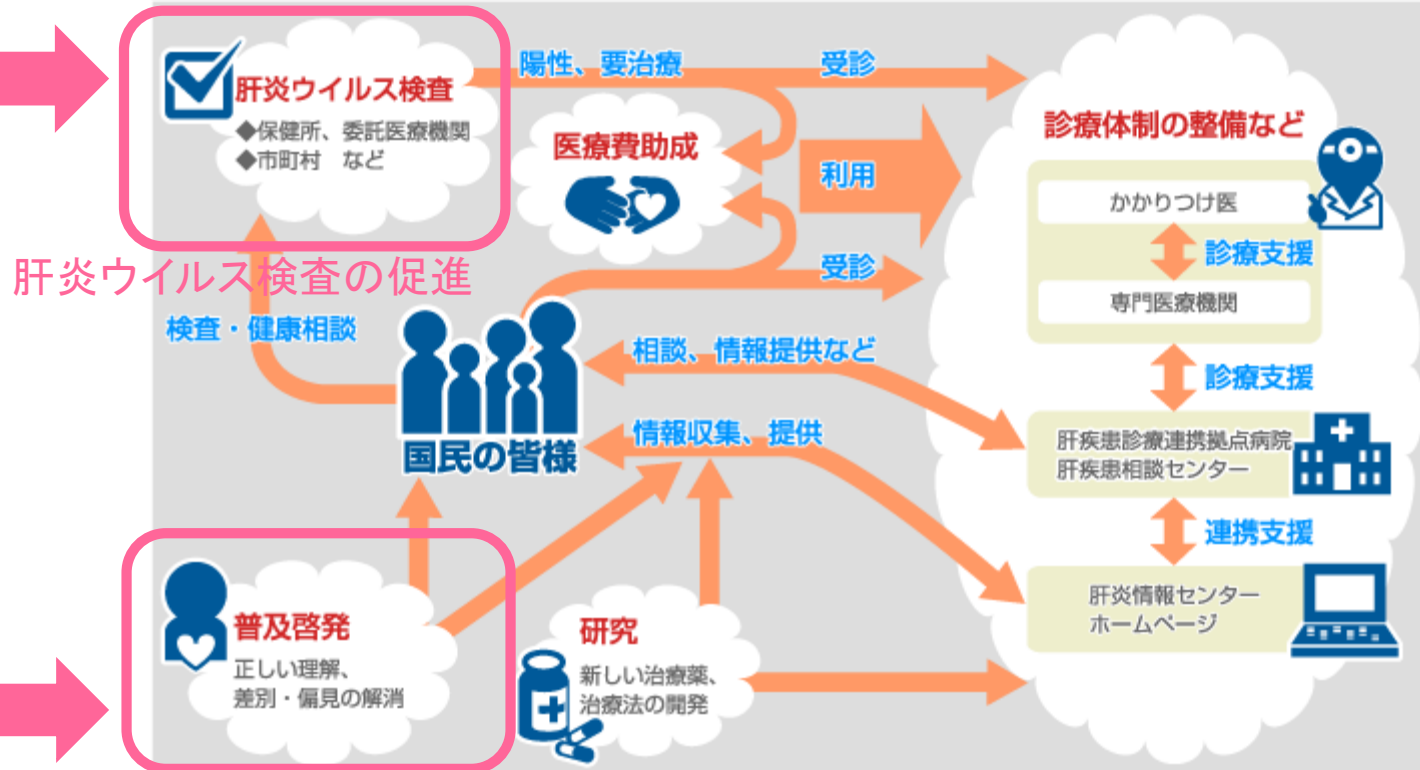


Information Examination Medical Treatment Enlightenment

肝炎総合対策の推進

肝炎の治療促進のための環境整備

肝炎総合対策の概念図



肝炎に係る
診療及び
相談体制の
整備

本日の
焦点

国民に対する肝炎に係る診療及び
正しい知識の普及啓発

肝炎に係る研究の推進

厚労省のホームページ

◆保健所における肝炎ウイルス検査の受診勧奨と検査体制の整備

保健所及び各自治体が委託する医療機関での無料検査の実施
ニーズに応じた出張型検査の取組の推進

◆肝炎総合対策推進国民運動事業（「知って、肝炎プロジェクト」）

肝炎に関する知識や肝炎ウイルス検査の必要性をわかりやすく伝え、あらゆる国民が肝炎への正しい知識を持ち、早期発見・早期治療に向けて自ら積極的に行動していくことを目的とした「知って、肝炎プロジェクト」を開始している

本日のプログラム

● 厚生労働省が
求めていること



活動の具体的内容②
【無料肝炎検査キャンペーン】



肝疾患診療連携拠点病院
【岡山大学病院
肝疾患サポートチーム】



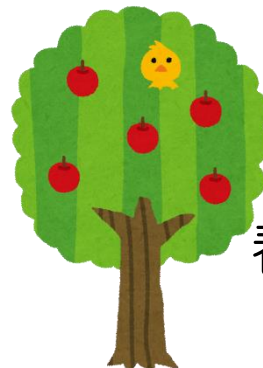
情報発信
【MOMO肝通信】



方針と目標



活動の具体的内容①
【出張肝臓病教室】



看護職の新しい役割

岡山大学病院

晴れの国
果物王国

「おかやま」



【総面積】

7,114.62km² 国土面積の1.9%

全国第17位

【地形】

県北部は、中国山地と盆地、
中部は吉備高原などの丘陵地、
南部は平野。県北部は山と温泉
に、南部は海と島。

【総人口】

1,930,161人

(岡山市・倉敷市119万人)



病床数: 961床 **岡山大学病院**

看護師: 1054人(100床あたり日本1位)

医師589人(100床あたり日本4位)

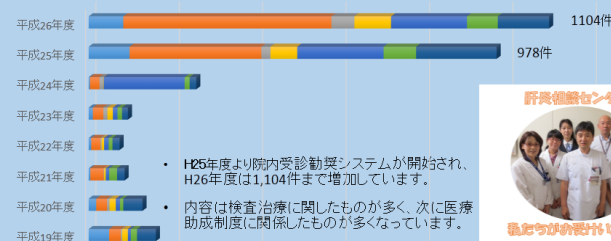
★肺移植 国内最多！

★臨床研究中核病院

平成19年 岡山県肝疾患診療連携拠点病院
「肝炎相談センター」が設置

看護師
ソーシャルワーカー
事務(3名)

肝炎相談件数の集計



肝炎相談センター

これまでのスタッフの活動

- ★2007年 岡山県肝炎相談センターの設置
(医師/外来看護師)
- ★2010年 インターフェロン外来の体制づくり
(医師/外来看護師)
- ★2011年 テラプレビル/インターフェロン/リバビリン の院内パスの構築
(医師/病棟看護師/薬剤師)
- ★2013年 院内受診勧奨システムの構築
(医師/肝炎相談センター)

ある日、おもむろにスタッフが召集された...

★2013年10月「肝臓病教室を始めたい」

→医師、外来看護師/病棟看護師、薬剤師、栄養士、
ソーシャルワーカー、移植コーディネーター、
治験コーディネーター、医事課事務

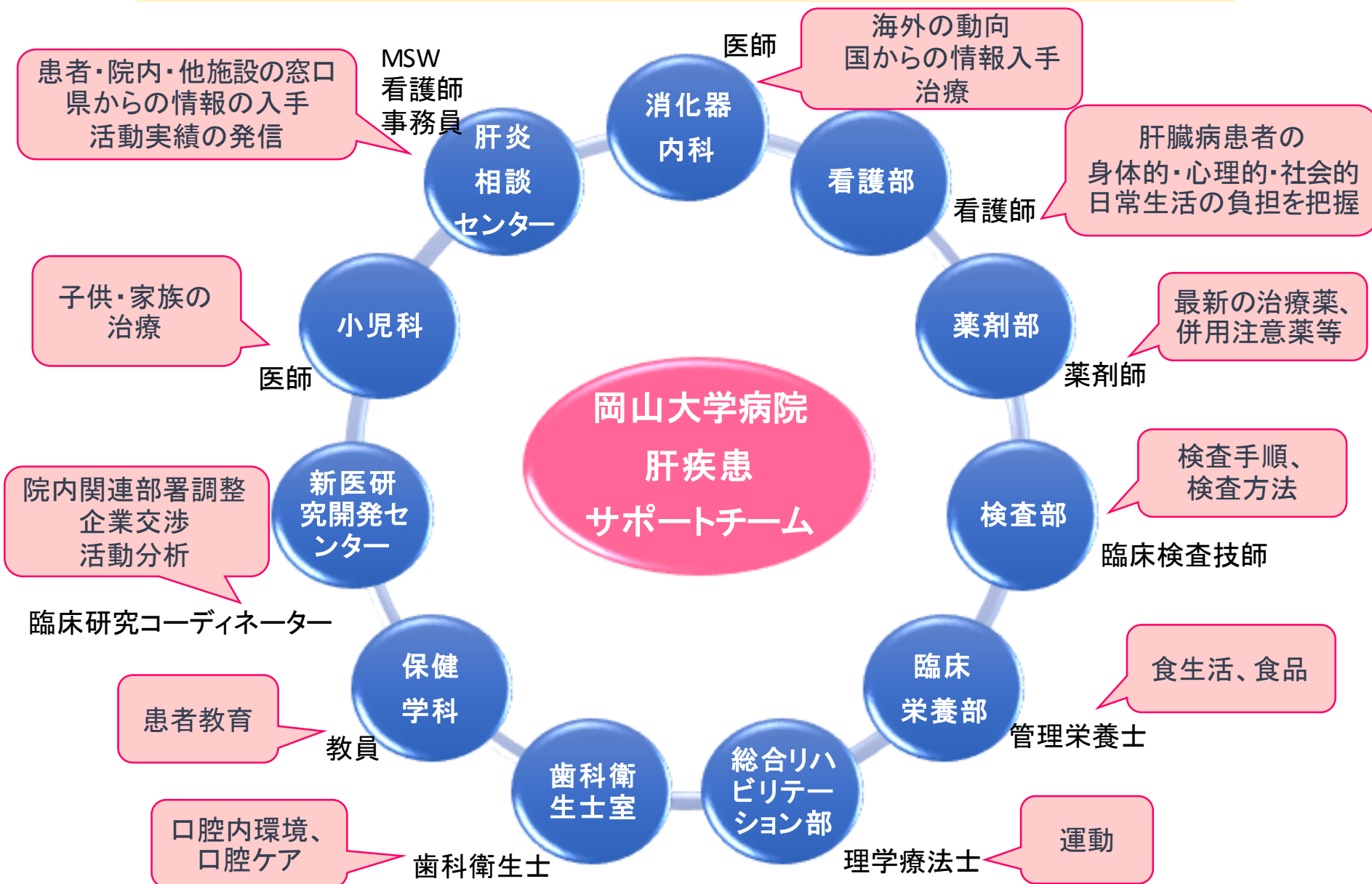


消化器内科
池田房雄先生



組織作りが必要。
それは、「肝臓病教室」の運営のための組織ではなくて、
「肝臓病について考える人たち」のチームの構成

チームの設立



本日のプログラム



厚生労働省が
求めていること



肝疾患診療連携拠点病院
【岡山大学病院
肝疾患サポートチーム】



方針と目標



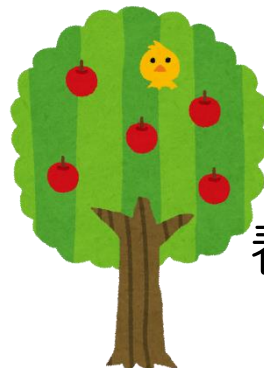
活動の具体的内容①
【出張肝臓病教室】



活動の具体的内容②
【無料肝炎検査キャンペーン】



情報発信
【MOMO肝通信】



看護職の新しい役割

肝疾患サポートチームの方針

肝疾患サポートチームの方針

- ★厚生労働省、岡山県の方針をチーム全員が共通理解をした上で、岡山県肝疾患診療連携診療拠点病院の機能を担うとともに、岡山大学病院ならではの肝疾患サポートの方策を探し構築すること
- ★多職種が連携し、各スペシャリストとしての能力が肝疾患患者に発揮されるような組織・体制づくり
- ★実施した活動は必ず振り返り、評価を行い、公表する

肝疾患サポートチームの目標

- ★肝疾患患者が適正な治療を受け、QOLを維持しながら安心して生活ができるように身体的・心理的・社会的サポートを行う
- ★まだ感染に気がついていない人に対して、肝炎ウイルス検査の受検・受診を促せるように働きかける
- ★一般市民に対して、肝臓病に対する理解を深めてもらう

肝疾患サポートチームの活動内容

- 院内の肝炎ウイルス検査の報告と受診勧奨
- C型慢性肝炎で抗ウイルス治療を受ける患者の支援体制の構築
- 肝炎相談センターを介しての患者/家族相談
- 肝臓病教室の開催
- 出張肝臓病教室の開催
- 世界肝炎デーのイベント
- 肝炎ウイルス検査受検/受診勧奨のためのイベント(啓発活動)
- 【MOMO肝通信】の発行

本日のプログラム



厚生労働省が
求めていること



肝疾患診療連携拠点病院
【岡山大学病院
肝疾患サポートチーム】



方針と目標



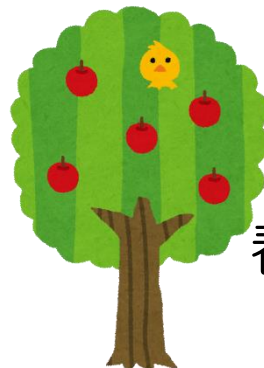
活動の具体的内容①
【出張肝臓病教室】



活動の具体的内容②
【無料肝炎検査キャンペーン】



情報発信
【MOMO肝通信】



看護職の新しい役割

出張 肝臓病教室

肝炎ウイルス検査の受検/受診勧奨
職場(地域)での肝臓病に対する差別/偏見の解消

<対象>

企業、就労団体の職員、希望される団体

<開催頻度>

月1~2回

<開催場所>

岡山県内の依頼のあった就労団体/企業、指定された場所

<開催内容>

1時間程度で、希望する内容に応じ、肝疾患サポートチームの医療スタッフを選出し講演を行っている。

看護師の役割

職場に
出向いて
講演します

岡山大学病院 出張 肝臓病教室のご案内

肝炎に対する正しい知識を得ませんか？
あなたの認識が、差別/偏見を解消し、一人一人を
大事にする環境を作る第1歩となります！

目的

1. 職場での肝炎に対する差別/偏見の解消
2. 肝炎ウイルス検査の受検の促進



肝炎相談センター
センター長 高木医師

当院のスペシャリストがチームを組んで、
あなたの職場を訪れます。

それぞれの職種が話す講演内容の一部



医師

肝臓病の病態、最新の治療、
厚生労働省の方針

治療にかかる費用、助成制度

差別の現状、感染予防対策、
生活上での肝臓をいたわる工夫



看護師

肝臓病に使われる薬剤、
ワクチンの情報

肝臓に優しい食事、
栄養バランスのとれた食生活



管理栄養士

メタボを防ぐ運動、
職場でできるロコモ体操



ソーシャル
ワーカー



薬剤師



理学療法士

私たちは、一人でも多くの方に肝炎ウイルス検査を受け
てもらい、肝硬変や肝臓といった深刻な病気に進行する
前に、感染に気がつき、適切な治療を受ける環境を整え
たいと願っています。

無料
です。

連絡先：岡山大学病院内 肝炎相談センター
担 当：山崎、笠原、犬山、難波、小山
電 話：086-235-6851
FAX：086-235-7613
e-mail：ijika@adm.okayama-u.ac.jp



看護師は、肝臓病の患者さんの身体的・心理的・社会的負担を聞いている。



- ★差別/偏見の現状
- ★感染予防対策
- ★治療を受けている人/受けた後の人の言葉
- ★職場での悩み
- ★生活上で肝臓をいたわる生活の工夫点



講演内容に反映させることで、
より身近な話だということに気が
ついてもらいやすい

出張 肝臓病教室の様子



出張 肝臓病教室の手順

開催場所 選定

- 肝疾患サポートチームmeetingで話し合い、開催場所を検討
- 岡山県地域肝炎対策サポーター研修会での案内配布
- 岡山県での事業者研修会で配布

院内調整

- 依頼先との交渉（開催日時・場所の交渉・特に知りたい情報）
- 院内スタッフ調整（肝疾患サポートチームのメンバー調整）
- 依頼先との正式な開催 成立

開催

- 開催当日の準備（マニュアルの整備：配布資料、スライド）
- 開催当日（講演者、司会、外回りスタッフ）
- 開催後の反省、質疑応答をマニュアルに反映

出張 肝臓病教室の開催状況

2014年度

日時	曜日	市	場所	対象	人数	時間	開始時間	講演者
10月28日	月	岡山市	岡山大学 津島キャンパス	岡山大学職員	30	1時間	13:15～	医師/看護師/ソーシャルワーカー
10月31日	金	津山市	津山国際ホテル	商工会に所属する人	80	30分	18:30～	医師/管理栄養士
11月14日	金	岡山市	岡山大学病院	SAPIX職員	70	30分	12:30～	医師
11月16日	日	岡山市	NPO会館	岡山県健康管理士会	20	1時間	13:00～	医師/看護師/ソーシャルワーカー
11月22日	土	岡山市	岡山県立図書館	岡山県社会保険労務士会	50	1時間	10:00～	医師/看護師/ソーシャルワーカー
12月5日	金	岡山市	健康づくり財団	フィリップス・レスピロニクス社員	20	1時間	12:00～	医師/管理栄養士
12月8日	月	岡山市	テルモ株式会社	テルモ社員	30	1時間	10:00～	医師/看護師/ソーシャルワーカー
1月27日	火	岡山市	岡山刑務所	法務省矯正局職員	100	1時間	17:10～	医師/看護師/ソーシャルワーカー
3月17日	火	岡山市	岡山市民病院	岡山市消防署 救命救急士	40	40分	11:20～	医師/管理栄養士
3月18日	水	岡山市	岡山市民病院	岡山市消防署 救命救急士	40	40分	11:20～	医師/管理栄養士

2015年度

日時	曜日	市	企業名/場所	対象	人数	時間	開始時間	講演者
4月23日	木	岡山市	西日本メディカルリンク株式会社	一般社員	50	1時間	18:00～19:00	医師/事務員/薬剤師
5月27日	水	岡山市	旭川荘療育・医療センター	看護師、	110	1時間	14:00～15:00	医師/看護師/薬剤師
6月5日	金	真庭市	勝山病院	看護師・助手・事務職	50	1時間	17:30～18:30	医師/看護師/薬剤師
6月14日	日	岡山市	岡山県歯科衛生士会/生涯学習センター	歯科衛生士	40	1時間	13:30～14:30	医師/看護師/薬剤師
9月25日	金	岡山市	岡山ふれあいセンター内/ 介護サービスセンター	介護職	20	1時間	15:00～16:00	医師/看護師/検査技師
10月3日	土	和気町	北川病院	患者・家族・地域住民	150	1時間	14:00～15:00	医師/薬剤師/栄養士
10月30日	金	岡山市	岡山県介護福祉士会/ 岡山県総合福祉会館	介護福祉士	50	1時間	9:00～10:00	医師/理学療法士/栄養士
11月21日	土	真庭市	銘建工業株式会社	一般社員	150	1時間	11:00～12:00	医師/歯科衛生士/理学療法士

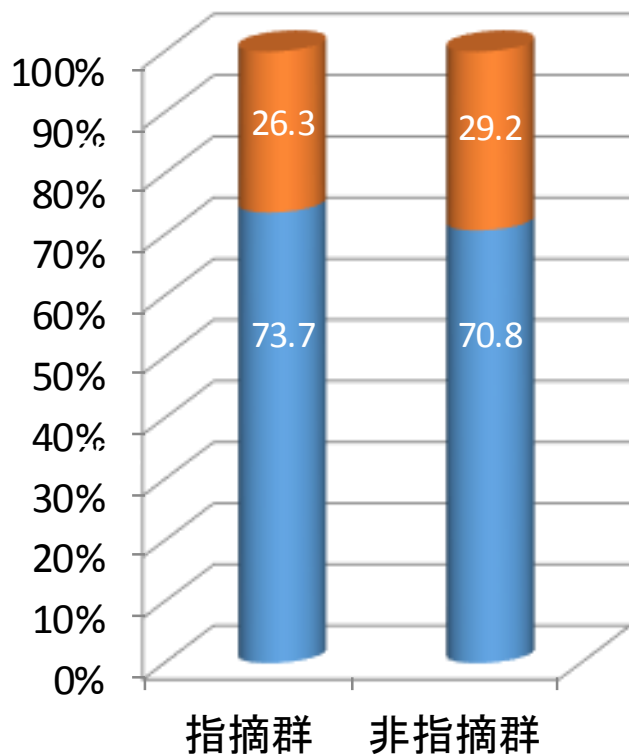
予定

12月8日	火	岡山市	社会福祉法人 恵風会	職員	50	1.5時間	14:00～15:30	医師/薬剤師/歯科
12月17日	木	岡山市	MSD株式会社	一般社員 MR	20～30	1時間	19:00～20:00	医師/歯科衛生士/事務
1月21日	木	岡山市	アツヴィ合同会社	一般社員 MR	10	1時間	18:00～19:00	医師/栄養/理学療法士
1月29日	金	岡山市	津島小学校	教職員	50	1時間	16:00～	医師/看護師/薬剤師

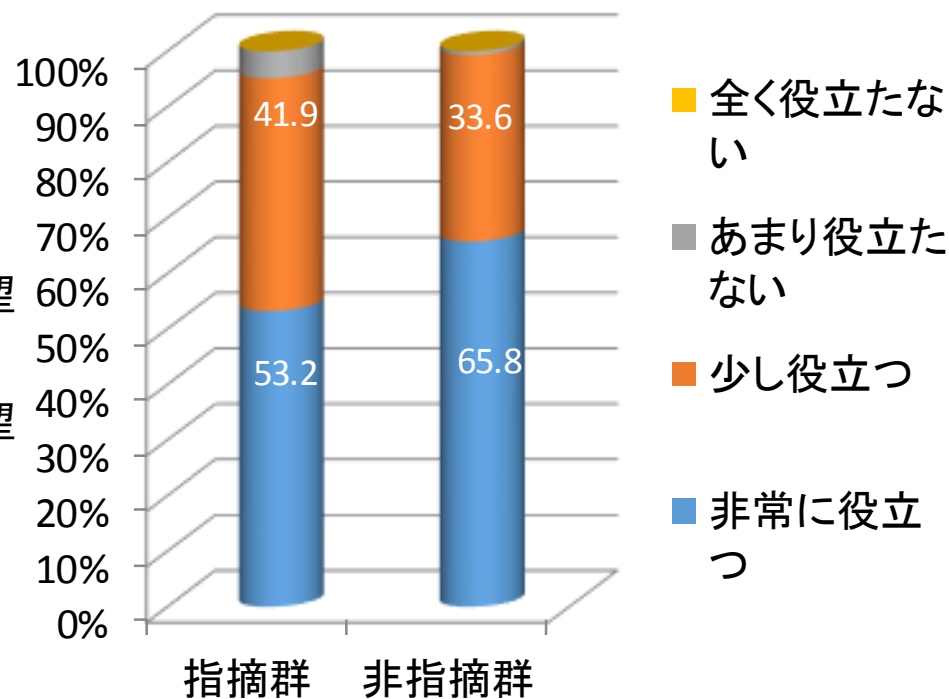
18団体 のべ1000人に実施しました。

出張 肝臓病教室の成果

肝炎ウイルス検査を受けようと思うか



職場の肝臓病に対する偏見や誤解の解決に役立つか



出張 肝臓病教室後の感想/相談

- 健康診断で正常と言われていたので、**肝炎は自分には関係ない**と思っていたけれど、肝炎ウイルス検査をうけないと感染しているかどうかかわからないというのは初めてだった。
- もしも、職場に肝炎の人がいたら、**積極的に受診するように勧めよう**とおもった。
- **職場環境の問題**が存在することにあまり認識ありませんでした。
- 傷口に血がふれた場合に、消毒薬は**なにを使ったら**よいでしょう？
- B型肝炎キャリアの子供もいるので、つけた**歯ブラシをどう管理していい**のか具体的な対応をしりたい。

★一般の人が肝炎に対してどういう印象をもっているかを知る機会
★肝炎相談センターのスタッフや実際に病棟/外来で働く看護職にとっても、同様の質問をされたときに他職種の返答を学ぶ機会になっている。

出張 肝臓病教室後の最近の様子

肝炎に関心をもつ

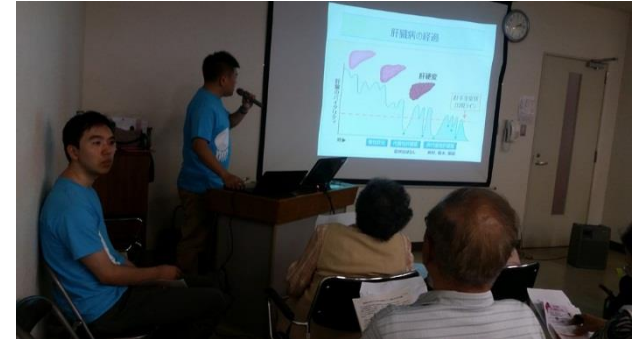
- 出張肝臓病教室で肝炎について学ぶ

受検希望

- 「肝炎ウイルス検査をうけてみたい」

その場で
受検

- 肝炎一次専門医療機関と連携し、肝炎ウイルス検査をその場で実施



肝炎ウイルス検査を受検したいという希望が、
受検行動につながるように工夫しています。

本日のプログラム



厚生労働省が
求めていること



肝疾患連診療連携拠点病院
【岡山大学病院
肝疾患サポートチーム】



方針と目標



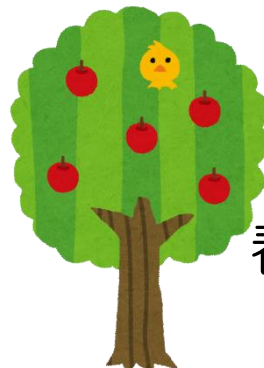
活動の具体的内容①
【出張肝臓病教室】



活動の具体的内容②
【無料肝炎検査キャンペーン】



情報発信
【MOMO肝通信】



看護職の新しい役割

肝炎ウイルス検査受検イベント

【無料肝炎検査キャンペーン2015】 in イオンモール岡山・未来スクエア

開催日時：2015年8月21日（金） 10:00～18:00

会場：イオンモール岡山 1階「未来スクエア」

岡山市北区下石井1-2-1

プログラム

<岡山駅前>

7:30～9:00 広報活動（ポケットティッシュとウチワを配布）

<イオンモール岡山1階「未来スクエア」>

10:00 イベント開始

（無料肝炎検査、相談コーナー、パネル展示、子ども広場）

11:00 オープニングセレモニー

兼信定夫岡山県健康推進課長 挨拶

岡田裕之消化器内科教授 挨拶

高本章乃夫肝炎相談センター長 挨拶

平松政次様 挨拶（知って肝炎プロジェクト）

ももっち・うらっち登場

トークショー

（肝炎治療は劇的に変わった！検査するのが当たり前の時代に！）

岡山大学オーケストラの演奏（弦楽四重奏）

14:00 歌と体操/ダンスで体脂肪を減らそう

18:00 イベント終了

設置予定ブース

無料肝炎検査コーナー

相談コーナー

パネル展示コーナー

子ども広場

【肝炎ウイルス検査を受けること】
それが、あなた自身とあなたの大切な人を守ることにあります。

日本では、350万人が肝炎にかかっているといわれています。
肝炎は身近な病気です。
正しい理解をお願いします。

後援：岡山県医師会、岡山市医師会、岡山県病院協会、岡山県薬剤師会、
岡山県看護協会、岡山県栄養士会、岡山市

共催：岡山県

主催：岡山大学病院 【問合せ先：肝炎相談センター TEL086-235-6851】

無料肝炎検査キャンペーン2015 in イオンモール岡山・未来スクエア

<開催日時> 2015年8月21日（金）

<目的>

- ・肝臓病に対する理解を深めてもらい、
差別/偏見の解消
- ・肝炎ウイルス検査の受検/受診勧奨

<開催内容>

- ・無料肝炎ウイルス検査
- ・肝臓病に対する知識啓発のパネル展示
- ・健康相談コーナー
- ・オープニングセレモニー

（「知って、肝炎」スペシャルサポーターの平松政次様と元肝炎治療参加の患者さんとのトークショー、ももっち、うらっち）

- ・岡山大学オーケストラの演奏
- ・歌と体操/ダンスで体脂肪を減らそう

肝炎ウイルス検査受検イベントの背景

- 岡山大学病院は、**肝疾患診療連携拠点病院**であり、**地域に対して**肝炎に対する知識の啓発活動を行う責務がある
- 知識の啓発だけでなく、実際に**肝炎ウイルス検査を気軽に受けてもらえる機会**を設けたい
- 地域肝炎対策サポーターに行った調査から、岡山県で**地域医療機関が連携した活動**の機会を作りたい
- 岡山県で開催されてきたこれまでの啓発活動は、医師のみが主体となる講演が中心であり、**他のメディカルスタッフが役割を担う**ことはなかった



実際の様子

動画をご覧ください

肝炎ウイルス検査受検イベントの効果

肝炎ウイルス検査の受検者、アンケート記入者、こども広場、パネル展示、健康相談コーナーに参加した人数は一日

約**500**人



肝炎ウイルス検査を受けられたのは、347人
HBs抗原陽性者は6人、HCV抗体陽性者は1人



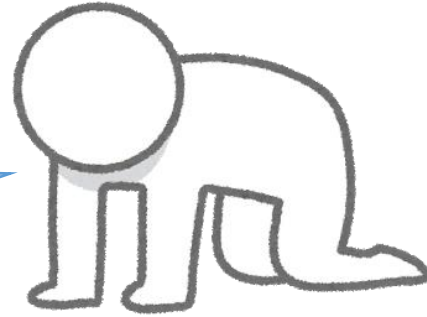
陽性者7人のうち、6人とは連絡を行い、
肝炎一次専門医療機関をご案内しました

陽性者の背景

被験者 番号	HBs抗 原量	年齢	性別	家族歴 (肝がん、 肝炎)	OPE歴	輸血歴
A	2000	64	男	肝がん(－) 肝炎(－)	(－)	(－)
B	2000	66	女	肝がん(－) 肝炎(－)	(－)	(－)
C	560.8	38	男		(－)	(－)
D	223.7	63	女	肝がん(－) 肝炎(－)	(+)帝王 切開	(?)
E	2000	61	女	母:肝がん(+) 母・兄:肝炎 (+)	(－)	(－)
F	2000	46	女	肝がん(－) 肝炎(－)	(－)	(－)
G	1.3(HCV 抗体)	69	女	兄:肝がん(+) 兄:肝炎(?)	(+)	(－)

陽性者の言葉

家族で肝炎の人なんていないので、
びっくりです。**肝機能の異常を言
われたこと一度もない**ですよ。



むかし、B型肝炎といわれたことが
あったけど、放置してました。
当時は、それでいいって
言われていました。



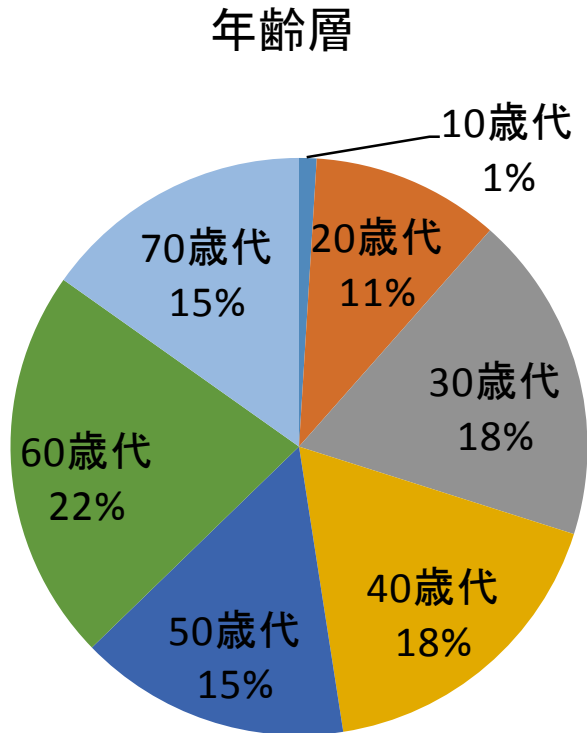
まさか、自分が肝炎？？？
たまたま、買い物ついでに検査
しただけなんです。



肝炎ウイルス検査を受けたことを前向きに考えましょう！
治療もずいぶん進歩しています。
ひとまず、今の状態を正しく把握するために
精査をしましょう！！



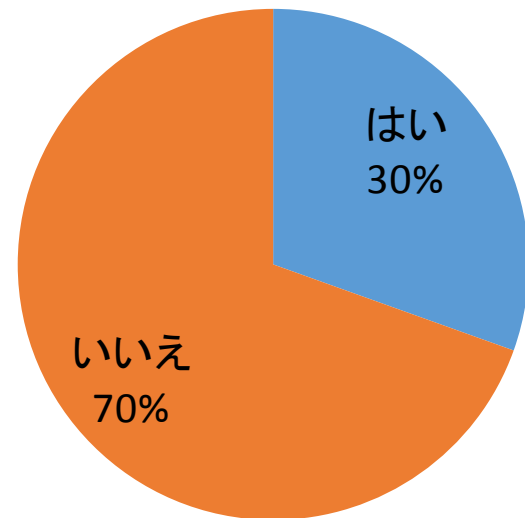
参加者の背景 ①



偏りがなく様々な世代の人に
参加してもらえています

n=452

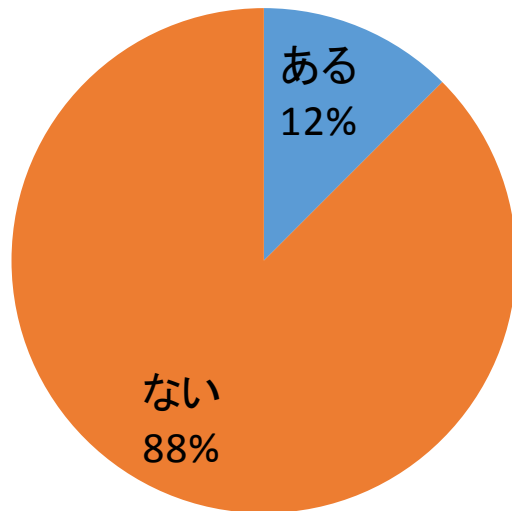
今までに受けた健康診断で、
肝臓に対する検査結果を意識して
みていましたか？



肝臓に対する意識が高くない人
にも参加してもらえました

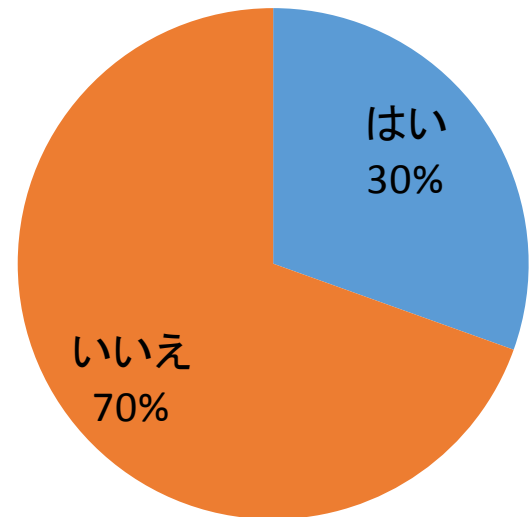
参加者の背景 ②

あなたは肝臓に異常があると指摘されたことがありますか？



n=408

今までに受けた健康診断で、肝臓に対する検査結果を意識して見ていましたか？



n=407

肝臓に対する意識が高くない人にも参加してもらえました

集客の工夫点 ①

★ターゲット

- 夏休みなので、子連れの**母親**、家族連れの**父親**
- 可能なら、仕事終わりの男性
- 日頃は忙しくて、自分の健康にあまり関心のない人

駅前での広報活動

こども広場、ゆるキャラ

★positiveなメッセージ

商業施設で開催するため、『感染』、『うつる』、『癌になる』、『差別/偏見』、『採血』のnegativeなkeywordは厳禁

- キャッチフレーズは【**あなた自身とあなたの大切な人を守るために**】



★仲間は多ければ多いほどよい

- 地域肝炎対策サポーター(肝炎一次専門医療機関)
- 元肝炎治験参加患者さん
- 院内の職員(※餅は餅屋に頼むのがよし！)
- 岡山県や岡山市と連携

岡山市長を表敬訪問

集客の工夫点 ②

★催事内容

- 人の目をひくようなパフォーマンス
- 一緒に参加したくなるような企画
- 共感をよぶ企画
- スタッフも楽しいと思えるような企画
- 有名人を呼ぶ、【知って、肝炎！プロジェクト】

歌・ダンスの披露、弦楽四重奏

一緒に体操

患者さんの言葉

★広報

- マスコミ、新聞に報道依頼
- お得感を全面にだして強調
- 気軽に参加できそうな空気感

★会場レイアウト

- 人ごとではなく、自分のことだと認識してもらえるようなメッセージ
- パネル展示をみたら、肝炎ウイルス検査をすぐ受けられる道順



参加したスタッフの声

★地域連携で、クリニックから大学に紹介された方の話題にもなり、共通認識で関わっていたことが分かり、肝炎の日ごろの業務に対するモチベーションが増加した。

★日頃は、院内の状況(自分の職場)しか知らないなので、他の医療機関の職員と話すだけで、刺激になる。

★もっともっと交流をもつ場が欲しい。

★岡山県職員の方からの話を直接きいて、行政を身近に感じた。

★頑張っている様子がわかり、一緒に協力できればと思った。

★最初の受検の場所に立ち会えたので、受検勧奨へのヒントもありそう！

本日のプログラム



厚生労働省が
求めていること



肝疾患診療連携拠点病院
【岡山大学病院
肝疾患サポートチーム】



方針と目標



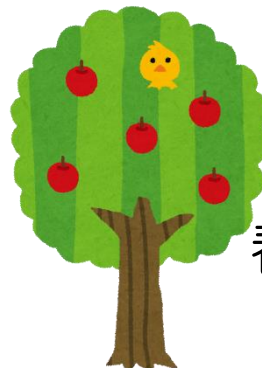
活動の具体的内容①
【出張肝臓病教室】



活動の具体的内容②
【無料肝炎検査キャンペーン】



情報発信
【MOMO肝通信】



看護職の新しい役割

情報発信

- 岡山大学病院、岡山県肝炎相談センターのホームページ
<http://www.okayama-u.ac.jp/user/hos/kanzoubyo.html>
<http://kanen.ccsv.okayama-u.ac.jp/index.html>
- 岡山大学病院 肝疾患サポートチームのツイッター
https://twitter.com/OKADAI_liver?lang=ja
- MOMO肝通信
- 学術集会・論文での公表



MOMO肝通信



【無料肝炎検査キャンペーン2015in イオンモール岡山・未来スクエア】 の開催に寄せて

「知って、肝炎プロジェクト」*のスペシャルサポーターとして、市民の皆様へ肝炎ウイルス検査の必要性、肝炎の早期発見・早期治療に向けて自ら積極的に行動するため取り組んでいただくことをお伝えし、今回の故郷の岡山でのイベントに参加させていただきました。

朝から多くの市民の方が肝炎検査を受けに会場に集まられたのを見て、岡山大学病院の方々をはじめ、多くの方のご尽力により、肝炎に関する関心が高まっていることを実感しました。

今回の検査で、方が一陽性と診断されたら、すぐに専門医の診療を受けて下さい。特にC型肝炎は、ほぼ副作用のない飲み薬での治療が始まっています。大切な人や家族のためにも「自分の身体は自分で守る。」を心がけて下さい。

私はこれからもスペシャルサポーターとして肝炎に関する啓発活動を通じて参りますので、皆様の肝炎撲滅に向けてより一層のご活躍をご期待申し上げます。

元プロ野球選手 平松政次
※「知って、肝炎プロジェクト」: 2012年から始まった
厚生労働省の国民運動事業の通称



肝炎に対する認識を高め、予防・検査・治療を促進することを目的として国際的には世界肝炎デー、国内では日本肝炎デーを設けられています。そして厚生労働省は肝炎総合対策推進国民運動事業として【知って、肝炎プロジェクト】を発足して、潜在的感染者の発見にも取り組んでいます。

岡山大学病院ではそのスペシャルサポーターでいらっしやいます平松政次様をお招きして8月21日に無料肝炎検査キャンペーンを開催いたしました。平松様はご存知のとおり岡山県出身で名球会入りされている大洋ホエールズ元エースであり、また岡山県代表が甲子園で春夏通して唯一優勝した時の岡山東商業高校のエースでもいらっしやいます。故郷の岡山における啓発に役立てばという思いで駆けつけてくださいました。

岡山大学病院では、このようなキャンペーンだけでなく「肝炎相談センター」を設置し、治療内容、検査にかかる費用や精神的負担、療養生活などについてのご相談に直接あるいはお電話で対応できるようにしています。ご相談内容によって、医師・看護師・薬剤師・栄養士あるいは検査技師などの専門職が対応いたします。また、患者さんやご家族をサポートするために定期的な肝臓病教室を院内で開催して、さまざまな情報提供を行っています。

さらに、就労団体/企業を当院医療スタッフが訪問し、肝炎ウイルス検査の受検/受診勧奨を行う出張肝臓病教室なども開催しています。今後も地域に開かれた医療機関として皆さんの健康を守るための活動を広げていきたいと考えています。消化器内科 教授 岡田裕之



発行頻度: 年に4回発行

配布先: 院内各部署

岡山県肝炎一次専門医療機関
岡山県肝炎対策協議会の委員

内容: 院内の肝臓病教室の講演要約

肝炎啓発活動の様子

研修会/学術集会への参加報告

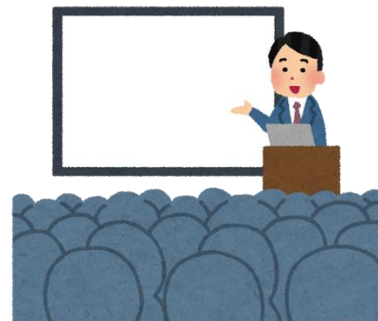
薬剤情報

英語論文トピック

肝炎相談センターからのお知らせ

研修会情報

活動予定



活動を円滑に実施するために

- 各部署への協力要請はトップダウンにする
- 職種ごとの役割の意義を伝える
- 活動に参加する上での教育的意義
- 日常業務/ケアにも役立つ(還元できる)
- 地域での貢献・存在感
- 定期的な活動報告と効果の可視化
- マニュアルの整備



本日のプログラム



厚生労働省が
求めていること



肝疾患診療連携拠点病院
【岡山大学病院
肝疾患サポートチーム】



方針と目標



活動の具体的内容①
【出張肝臓病教室】



活動の具体的内容②
【無料肝炎検査キャンペーン】



情報発信
【MOMO肝通信】



看護職の新しい役割

看護職の新しい役割

患者さんの言葉をダイレクトに聞く立場にある看護職だから

- ★院内の患者さんの言葉を外部にも発信し、受検勧奨に役立てる
- ★一般の人から聞いた相談を日常診療の共感に役立てる
- ★イベントのような啓発活動でも患者が希望する企画を思いつく

日頃から医療チームマネジメントに関わることが多い看護職だから

- ★関連する部署や人材の得意なところをしっかりと把握している



活動の場、相談の場を院内から地域へ広げるための役割を担う

- ・効果的な受検勧奨/受診勧奨になるように貢献できる
- ・差別/偏見の解消にも貢献できる

ご静聴ありがとうございました。



岡山大学病院では
病院長賞【楷の木賞】があり、
肝疾患サポートチームは
今年表彰していただきました。

